

第 51 回定時株主総会 質疑応答概要  
(2024 年 6 月 20 日開催)

Q1. 新規の投資家は直近の 3 ヶ年程度の業績で銘柄の成長を判断します。当社の売上高はここ数年 140 億円台であり、横ばいと感じます。2025 年 3 月期の売上高計画は 150 億円ですが、より高い売上上昇を今後期待できるのでしょうか？

A. (回答者：柿崎議長)

結果として売上高が 140 億円台となることが続いていることは真摯に受け止めております。我々のビジネスの内、人の数に依存しているサービスから製品やクラウドのビジネスにシフトし、ストックを増やすことで、今後の業績を伸ばしていきたいと考えております。

Q2. 外注費の上昇で当社への影響はありますか？ 社員の賃金上昇について、当社ではどのような状況ですか？

A. (回答者：柿崎議長)

受託系ビジネスにおいて、(我々が発注する側の) 外注費は徐々に上昇してきております。逆に請け負う側に関しては、案件別に単金交渉を進めており濃淡がございます。社員の賃金につきましては、まず次の初任給から約 3%の上昇を計画しており、他についても今後検討してまいります。

Q3. 市場の拡大に伴い事業も広がると説明にありましたが、逆に競争も激しくなるのではないのでしょうか？ それに対する戦略はありますか？

A. (回答者：柿崎議長)

ご認識の通り、自然に事業が拡大するわけではございません。これまでもそうですが、お客様と信頼関係を築きながら、培ったノウハウや価値を軸にご要望に合わせたサービスを提供することで事業の拡大を図っていきたくと考えております。生成 AI などの新しい技術に関しても取り入れながら進めてまいりますのでご期待ください。

Q4. サステナビリティ活動の推進は情報開示以外に注力しているポイント等ありますか？

A. (回答者：柿崎議長)

環境面での配慮や施策につきましては IT 企業ゆえに (温室効果ガスなどの排出量が多くないことから) 難しい部分があります。注力ポイントは、やはり人的資本に関連して人財開発への投資を強化し、実質的な効果を最大化していきたいと考えております。

Q5. 今回女性監査役が候補者に挙がっていますが、多様性の観点をどう考えていますか？

A. (回答者：柿崎議長)

多様性は社内外の様々な意見を取り入れるための重要な課題と認識しております。今回、社外監査役に女性候補を立てておりますが、女性の取締役候補者につきましては、まだまだ選任候補となる人財の育成、確保ができておりません。

Q6. 前中期経営計画で営業利益率 10%という目標があったが、こちらを今後も目指していただきたい。

---

A. (回答者：柿崎議長)

ご意見を真摯に受け止めながら計画の準備を進めたいと思います。

※事務局追記(新たな中期経営計画の VISION2030 にて営業利益 10%超を定めています)

Q7. 決算説明会資料によれば新しい中期経営計画の公開は 6 月中ということでしたが、いつ頃公開となりますか？ 内容についても概要を教えてください。

---

A. (回答者：柿崎議長)

近々にご報告させていただく予定です。内容につきましてはこの場での情報開示は控えさせていただきます。

※事務局追記(株主総会后、同日の 6/20 に新たな中期経営計画を開示いたしました)

以上